

シラバス (介護職員基礎研修)

指定番号 _____ 課程 介護職員基礎研修課程
 法人・団体名 株式会社 松島紙店
 課程編成責任者 小又幸成

研修区分 標準型(500時間) 実習免除型(300時間) 科目免除型(I)(200時間) 科目実習免除型(I)(60時間)
 科目免除型(II)(350時間) 科目実習免除型(II)(150時間) 演習及び実習(実習事業者のみ)

科目番号・科目名	(7) 医療・看護を提供する者との連携			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、看護との連携の必要性とケアチームの一員・現場のリーダーとして役割を理解する。 ・介護職がふれる機会の多い医療機器や薬、リハビリテーション医療等に関する基礎知識を習得する。 ・医療ニーズを持つ利用者に対して、医療、介護との連携の下で行う介護技術を習得する。 ・ターミナルケアへの対応について理解する。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 医療・看護との連携の基礎的理解+訪問看護の基礎的理解	12	12	0	<p>《目標》医療・看護との連携の必要性について説明ができ、その具体的な連携のとり方及び介護職員の役割について説明ができる。非医行為の範囲について具体的に説明できる。</p> <p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療、看護との連携の必要性の理解と方法 ・非医行為の範囲と対応の基礎 ・褥瘡予防に関する基礎的理解 ・緊急時の対応
② 医療機器、医療用具、薬の基礎的理解	6	6	0	<p>《目標》医療機器、医療用具の使用目的や利用者の生活上の留意点について概説できる。主な薬の種類と効能、主な注意事項(服用方法・保管方法)について概説できる。褥瘡の要因について概説でき、褥瘡予防・悪化防止における介護職員の役割と医療職との連携について説明ができる。</p> <p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃瘻、腸瘻、鼻腔栄養、中心静脈栄養、点滴 ・吸入、吸引 ・人口呼吸器、在宅酸素 ・浣腸、摘便 ・人工肛門、人工膀胱、腎瘻、膀胱瘻 ・薬(種類と服薬方法、副作用とリスク、多剤併用での相互作用)
③ リハビリテーション医療の基礎的理解	6	6	0	<p>《目標》リハビリテーション医療の理念、目的、体系について説明できる。リハビリテーションのあり方について概説できる。緊急時取るべき行動、応急処置の方法や留意点について説明できる。</p> <p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの理念、基礎 ・リハビリテーション医療の過程 ・リハビリテーションチーム職種との連携 ・介護予防とリハビリテーション
④ ターミナルケアへの対応・緊急時の対応方法	12	12	0	<p>《目標》ターミナルケアの考え方、対応の仕方、留意点、本人と家族への説明と了解、介護職員の役割や他の職種との連携について説明できる。</p> <p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルケアの条件とチームアプローチ
修了評価				
(合計時間数)	36	36		

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ いくつかの項目をまとめて、時間数を設定しても差し支えない。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙4に定める時間以内とすること。
 ※ 通信学習を実施する項目については、通信学習課題を提示すること。(既に提示したものを除く。)